

2022年6月17日

## 医療機材供与を通じた保健システム強化計画（UNOPS連携）トリニダード・トバゴ引渡式

2022年6月17日、トリニダード・トバゴの首都ポート・オブ・スペインのハイアットホテルにおいて、「医療機材供与を通じた保健システム強化計画（UNOPS連携）によって調達された医療機材の引渡式が行われました。

本件は、日本政府による総額460万米ドルの多国間プロジェクトで、国連プロジェクトサービス機関（UNOPS）との連携により実施されています。

本件により、トリニダード・トバゴ保健省は、電動吸引ポンプ100台、集中治療用ベッド30台、ICU患者モニター28台、輸液ポンプ（滴下数制御型）25台、携帯用超音波スキャン22台、ストレッチャー15台、輸液ポンプ（流量制御型）15台、呼吸器システム10台を受領しました。

引渡式には、日本政府より上杉謙太郎外務大臣政務官が代表し、松原裕大使が同席しました。トリニダード・トバゴ政府よりは、エイマリー・ブラウン外務大臣が出席し、デニス・ズールー国連常駐調整官代理、アレハンドロ・ロッシUNOPS事務所代表、トリニダード・トバゴ保健省、外務省他が出席しました。

ブラウン外務大臣は、引渡式を過去58年にわたる幅広い分野でのトリニダード・トバゴと日本の友愛的で素晴らしい関係において、重要な場面であると位置づけ、トリニダード・トバゴがユニバーサル・ヘルス・カバレッジを達成し、持続可能な開発目標の保健関連分野するための日本政府と国民への貢献に感謝しました。また、同大臣は、グローバルな課題に取り組む上での多国間主義の重要性に言及し、プロジェクトの成功に不可欠な役割を果たしたUNOPSに謝意を表明しました。

上杉政務官は、本件が保健省によって抽出された重要なニーズに対応して成功裏に実施されていることに喜びを示し、2024年の日・トリニダード外交樹立60周年について述べ、同年を日・カリコム友好年として祝うことを提案しました。また、上杉政務官は、保健省、UNOPSの本プロジェクトへの尽力を賞賛しました。

ロッシUNOPS代表は、包括的なプロジェクト運営を行うことができたことに喜びを表明し、保健省と共にコロナ禍において効果的な対応と国の保健システムの強化に向けたプロジェクトを実施することができ、光栄に思うと述べました。

日本政府は、今後とも小島嶼国特有の脆弱性の克服を図るとともに、カリブ各国との友好関係と相互理解を促進するため、防災、環境、エネルギー、廃棄物管理、水産分野等に対する支援を継続していく考えです。

お問い合わせ

在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班

Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222

Email: [ecocoop@mofa.go.jp](mailto:ecocoop@mofa.go.jp)



上杉外務大臣政務官の挨拶



ブラウン外務大臣の挨拶



ロッシ UNOPS 代表挨拶



上杉政務官よりブラウン大臣へ医療機材の引渡し



左から、アリ保健省次官、ロッシ UNOPS 代表、リチャーズ主任医療施設長、ブラウン外相、上杉政務官、松原大使、ズルー国連常駐調整官代理、パラスラム主任医務官